

少し前に、滋賀県民の常識「琵琶湖は動いている」は本当か?!という内容で滋賀県に視線が注がれました。実際、専門家に聞くと科学的な根拠があり、わずかずつ「北上」していて、将来的といっても100万～300万年後には福井県を突き抜けて日本海に到達するそうです。巨大な琵琶湖が消えるなんて想像しづらいですが、地球の歴史を考えると何が起きて不思議ではないのかもしれないですね。



季節を感じる

近江のお茶



風土豊かな滋賀県は日本茶発祥の地で古くから香り高い銘茶の産地として知られています。気候や地形がお茶の産地に適した地域（昼夜の温暖差が激しく霧が発生しやすい）が多く風味豊かで上品な高級煎茶が各地で栽培されています。5月には一番茶、6～7月には二番茶の生産が行われます。主な産地は「土山茶」（土山町）、「朝宮茶」（信楽町）、「政所茶」（東近江市）。香り高い銘茶を飲み比べてみてはいかがでしょうか。

暮らしのヒント

手軽な冷房



夏に向かって気温があがりつつあるこの季節。エアコンを使いたいけど電気代が気になりますよね。そんなときは手軽に使える扇風機の出番です。室内の温度を下げるのではありませんが、風が当たることで体感温度は下がります。真夏にはエアコンと併用すること効率的に冷却効果得られますので、積極的に使っていきたいですね。風の向きは、エアコンは「水平」、扇風機は「天井に向けて」。エアコンからの冷気が首元に届くと体感温度が下がり、電気代の節約につながります。

香りのある暮らし

香育（こういく）の日



香育とは、子供たちに向けた香りの体験教育で、日本アロマ環境協会が5月19日に制定しました。植物の香りを通して、五感のひとつ「嗅覚」に意識を向け、豊かな感性や柔軟な発想力を育むとともに、人と植物の関わり、自然環境の大切さを伝えます。植物によって香りが異なることや人それぞれで嗅いだ時の気持ちも異なることも体感します。家の中や庭、時には散歩をしながら親から子供へ植物の香り体験や恵みの大切さを伝えてみませんか。

家族を守る

防犯意識



最近のニュースを見ていると、テロ組織と関わりの少ない個人が、単独で犯罪行為に及んでいるのを耳にします。社会への恨みや不満を晴らすための身勝手な犯罪から身を守るには「普段から周囲に気を配る」です。例えば、車を運転する時は前後左右の確認をしますよね。それと同じように、人混みにいる時や歩いている時、買い物をしている時など日常生活の中で、いつどこで被害に遭うかわからないという意識を持ち、周囲に気を配りましょう。

マネー講座

ふるさと納税の活用



ふるさと納税の返礼品といえば名産品などのぜいたく品が定番ですが、日用品や普段使いできる食材を選べる自治体もあります。値上がりしている食材や日用品を選べば家計の足しになりますね。寄付をする場合は早めがベター。同じ返礼品に対して必要な寄付額が上昇傾向にあります。年末を待たず寄付額がUPする前がよさそうです。また、同じ寄付をするなら特典の多いポータルサイトを選び、サイトのキャンペーンとクレジットカードのポイント2重取りも。ぜひ利用を検討したいですね。

今月の店舗News

防犯セミナー開催のお知らせ

参加費
無料



第12回目となる今回のテーマは...

「凶悪犯罪多発 我が家を守るテクニック」

- 日時：6月17日（土） 13:30～15:00
- 会場：シライシアター野洲（小ホール）
- 講師：一般社団法人 日本防犯学校 学長 梅本正行氏
一般社団法人 日本防犯学校 副学長 桜井礼子氏
- 基調講演：元滋賀県警察 防犯アドバイザー 佐川文明氏

皆様、お誘い合わせでぜひお越しくださいね。